

科 目		表現技法Ⅲ（前期）				
担当教員	宮崎 亮	学年	2	履修期間	前期	1
学科	社会生活学科	実務経験のある教員等による授業				
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
	目的	発声練習をすることによって、会話における声量や発音が聞きやすいようにすることを目的とする。				
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	科目についてのガイダンス、発声についての説明					
第2週	発声の基礎。歌やトークをしながら学ぶ。					
第3週	課題曲1。台本1。					
第4週	課題曲1。台本1。配役を入れ替えながら行う。					
第5週	課題曲1。台本1。配役を入れ替えながら行う。					
第6週	課題曲1。台本1。配役を入れ替えながら行う。					
第7週	フリートーク					
第8週	課題曲2。台本2。					
第9週	課題曲2。台本2。配役を入れ替えながら行う。					
第10週	課題曲2。台本2。配役を入れ替えながら行う。					
第11週	課題曲2。台本2。配役を入れ替えながら行う。					
第12週	フリートーク					
第13週	課題曲3。台本3。					
第14週	課題曲3。台本3。配役を入れ替えながら行う。					
第15週	課題曲3。台本3。配役を入れ替えながら行う。					
第16週	課題曲3。台本3。配役を入れ替えながら行う。					
第17週	フリートーク					
第18週	フリートーク					
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
	授業に取り組む姿勢と達成度により評価する					
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
	教科書	: 検定過去問題				
	参考書	:				
<b>6. 注意事項</b>						

科 目		パソコン検定対策Ⅲ（前期）				
担当教員	佐藤隆博	学年	2	履修期間	前期	1
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
	目的	目標を持って学習し、資格取得により自信をつける				
2. 講義計画						
	第 1週	検定の目標を設定し、計画を立てる				
	第 2週	ワープロ検定問題				
	第 3週	ワープロ検定問題				
	第 4週	ワープロ検定問題				
	第 5週	ワープロ検定問題				
	第 6週	ワープロ検定問題				
	第 7週	ワープロ検定問題				
	第 8週	ワープロ検定問題				
	第 9週	ワープロ検定問題				
	第10週	ワープロ検定問題				
	第11週	ワープロ検定問題				
	第12週	ワープロ検定問題				
	第13週	ワープロ検定問題				
	第14週	ワープロ検定問題				
	第15週	ワープロ検定問題				
	第16週	ワープロ検定問題				
	第17週	ワープロ検定問題				
	第18週	前期の振り返り				
3. 関連科目および注意点						
		パソコン活用実習の授業の進捗に留意する				
4. 成績評価の方法						
		授業に取り組む姿勢と達成度により評価する				
5. 教科書および参考書など						
	教科書	: 検定過去問題				
	参考書	:				
6. 注意事項						

科 目		基礎国語・数学Ⅲ（前期）				
担当教員	佐藤隆博	学年	2	履修期間	前期	1
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
目的 社会生活場面につながる内容の習得をはかる						
2. 講義計画						
第	1週	生活サイクル				
第	2週	場面ごとのことばづかい				
第	3週	場面ごとのことばづかい				
第	4週	分量計算				
第	5週	分量計算				
第	6週	メモの取り方				
第	7週	メモの取り方				
第	8週	買い物の金額計算				
第	9週	買い物の金額計算				
第	10週	作文				
第	11週	作文				
第	12週	データの整理				
第	13週	データの整理				
第	14週	ビジネスマナー				
第	15週	ビジネスマナー				
第	16週	予定計画				
第	17週	予定計画				
第	18週	定期試験対策				
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
平常点および定期試験（筆記試験）により評価する						
5. 教科書および参考書など						
	教科書	:				
	参考書	: 暮らしに役立つ国語・暮らしに役立つ数学				
6. 注意事項						

科 目		プレゼンテーション演習＋実地学習Ⅲ（前期）				
担当教員	石川美雪・佐藤隆博	学年	2	履修期間	前期	2
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	68	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
目的		①論理的思考力②人前で話せる度胸③コミュニケーション能力⇒相手のこと考えて説明を組み立てる。 ②伝える表現力をつけ、表現方法であるナンバリング・声の抑揚・間の取り方の工夫ができる。				
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	プレゼンテーション演習①					
第2週	プレゼンテーション演習①					
第3週	プレゼンテーション演習①					
第4週	プレゼンテーション演習①					
第5週	実地学習 春の散策					
第6週	プレゼンテーション演習②					
第7週	プレゼンテーション演習②					
第8週	実地学習 ごみ拾い					
第9週	プレゼンテーション演習②					
第10週	プレゼンテーション演習②					
第11週	プレゼンテーション演習③					
第12週	プレゼンテーション演習③					
第13週	プレゼンテーション演習③					
第14週	プレゼンテーション演習③					
第15週	プレゼンテーション演習④					
第16週	プレゼンテーション演習④					
第17週	プレゼンテーション演習④					
第18週	実地学習 DVD鑑賞					
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
プレゼンテーション発表時のプレゼンテーション評価と実地学習の振り返りレポートにより評価する						
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
教科書		:				
参考書		:				
<b>6. 注意事項</b>						

科 目		認知機能トレーニング(ET+ST)Ⅲ (前期)				
担当教員	石川美雪・佐藤隆博	学年	2	履修期間	前期	1
学科	社会生活学科					
種別	演習	単位時間	34	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知機能の5つの分野(覚える・数える・写す・見つける・想像する)をトレーニングし、①視覚性の短期記憶②聴覚性の短期記憶と文章理解の課題を行い、認知機能を高める。</li> <li>・ 段階式感情トレーニング・危険トレーニング・対人マナートレーニング・段階式問題解決トレーニングし、感情コントロール、危険予知、対人スキル、自ら解決する力をつける。</li> </ul>					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	覚える+数える				段階式感情トレーニング	
第 2 週	写す+見つける+想像する				段階式感情トレーニング	
第 3 週	覚える+数える				段階式感情トレーニング	
第 4 週	写す+見つける+想像する				段階式感情トレーニング	
第 5 週	覚える+数える				段階式感情トレーニング	
第 6 週	写す+見つける+想像する				段階式感情トレーニング	
第 7 週	覚える+数える				段階式感情トレーニング	
第 8 週	写す+見つける+想像する				段階式感情トレーニング	
第 9 週	覚える+数える				危険予知トレーニング	
第 10 週	写す+見つける+想像する				危険予知トレーニング	
第 11 週	覚える+数える				危険予知トレーニング	
第 12 週	写す+見つける+想像する				危険予知トレーニング	
第 13 週	覚える+数える				危険予知トレーニング	
第 14 週	写す+見つける+想像する				危険予知トレーニング	
第 15 週	覚える+数える				対人マナートレーニング	
第 16 週	写す+見つける+想像する				対人マナートレーニング	
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<p>・ 関連科目は、「社会面ST」「学習面ET」「身体面OT」の3方面からの理解と支援となる。</p> <p>①認知機能の弱さ ②感情統制の弱さ ③融通の利かなさ ④不適切な自己評価 ⑤対人スキルの乏しさの ⑥身体的不器用さのどれに該当するのかを踏まえた上で支援やトレーニングを行う。</p>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
<p>・ 平常点・振り返りレポートによる評価</p>						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						

科 目		ライフデザイン論 I (前期)				
担当教員	石川 美雪	学年	1	履修期間	前期	1
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立した生活の確立</li> <li>・ 自信を持って自分らしく生きる。</li> <li>・ 社会参加の意義や方法を学ぶ</li> </ul>				
<b>2. 講義計画</b>						
	第 1 週	健康管理①				
	第 2 週	健康管理②				
	第 3 週	健康管理③				
	第 4 週	セルフケア①				
	第 5 週	セルフケア②				
	第 6 週	セルフケア③				
	第 7 週	時間管理①				
	第 8 週	時間管理②				
	第 9 週	時間管理③				
	第 10 週	インターンシップ①				
	第 11 週	インターンシップ①				
	第 12 週	金銭管理①				
	第 13 週	金銭管理②				
	第 14 週	金銭管理③				
	第 15 週	住まい①				
	第 16 週	住まい②				
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生の日常を把握し、日々の生活と密着させる。</li> <li>・ 常に「自立」を意識させる。</li> <li>・ 自己選択や自己決定を重視する。</li> <li>・ グループ学習をベースとし意見交換や経験の分かち合いにつなぐ。</li> </ul>					
<b>4. 成績評価の方法</b>						
	・ 平常点・定期試験による評価					
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
	教科書	・ 社会性活カプログラム・マニュアル				
	参考書	:				
<b>6. 注意事項</b>						
	・ 将来を見据えた生活観を考える時間とする。					

科 目		実行機能トレーニングⅢ（前期）				
担当教員	石川美雪・佐藤隆博	学年	2	履修期間	前期	2
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	68	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
目的	<p>①抑制機能⇒その場において優位な行動や思考を抑える機能          ②アップデートング、ワーキングメモリ⇨頭の中のメモ帳に書かれている情報を確認し、必要な新しい情報を更新していく機能          ③シフティング⇨やるべき課題を状況に応じて柔軟に切り替える機能を身に付ける。</p> <p>①②③の機能を身に付ける</p>					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	ファイル整理 ・ 前期目標設定・掲示					
第 2 週	1・2年合同 学校周辺道案内					
第 3 週	1・2年合同 花植えグループ決めと準備 ・ 花の苗と土など道具買い物					
第 4 週	1・2年合同 プランターに花を植える ・ 手入れ					
第 5 週	1・2年合同 パソコン家計簿作成					
第 6 週	救急法					
第 7 週	1・2年合同 インターンシップ計画					
第 8 週	インターンシップ実習					
第 9 週	インターンシップ実習 リフレクションと礼状					
第 10 週	1・2年合同 調理実習①					
第 11 週	1・2年合同 調理実習②					
第 12 週	1・2年合同 調理実習③					
第 13 週	1・2年合同 暑中見舞い作成					
第 14 週	1・2年合同 暑中見舞い作成					
第 15 週	1・2年合同 お茶の入れ方					
第 16 週	1・2年合同 お茶の入れ方					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<p>&lt;支援や指導について&gt; ①本人にそうすることの大切さや必要感を意識してもらう ②自分に合った方法を考える③実践する④振り返り見直す⑤次に生かす ①～⑤の流れを直接働きかける。</p>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
・平常点・振り返りレポートによる評価						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						
・いろいろな体験を通して、経験値を積み上げるように進める。						

科 目		SST・コミュニケーションⅢ（前期）				
担当教員	石川美雪・佐藤隆博	学年	2	履修期間	前期	2
学科	社会生活学科					
種別	演習	単位時間	68	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が社会の中でどのように生きていくか</li> <li>・自分が社会とどのようにつながるかを考える</li> <li>・人間関係の構築とうまく生きるコツを身につける</li> </ul>					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	対人マナーを身につける					「あいさつのマナー①・②」
第 2 週	問題を解決する					「どちらにもいい顔はできない」
第 3 週	上手に挨拶をするには					
第 4 週	上手に挨拶をするには					
第 5 週	感情をうまくコントロールする					「相手の表情から気持ちを読み取る」
第 6 週	対人マナーを身につける					「誘うマナー①・②」
第 7 週	ありがとうを上手に言うには					
第 8 週	ありがとうを上手に言うには					
第 9 週	問題を解決する					「みんなが気持ちよくなる言い方を考えよう」
第 10 週	問題を解決する					「だれかに言われたことを思い出そう」
第 11 週	ありがとうカード					
第 12 週	ありがとうカード					
第 13 週	対人マナーを身につける					「尋ねるマナー①・②」
第 14 週	問題を解決する					「我慢することも大切」
第 15 週	ごめんなさいを上手に言うには					
第 16 週	ごめんなさいを上手に言うには					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション教育とソーシャルスキルやキャリア教育を中心にグループワークを実践し、ロールプレイや変化に富んだ実習を多く入れる。</li> </ul>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平常点・定期試験（筆記試験・実技試験）による評価</li> </ul>						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						



科 目		音楽表現Ⅲ（前期）				
担当教員	鈴木 日出代	学年	2	履修期間	前期	1
学科	社会生活学科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	34 単位時間			
<b>1. 概要</b>						
目的						
①発声法を学ぶ ・テーマに沿った曲を唄い、聞くこと						
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	ストレッチ・発語・発声・唱歌・JPOP					
第 2 週	ストレッチ・発語・発声・身の回りの音・手話歌・JPOP					
第 3 週	ストレッチ・発語・発声・唱歌・手話歌・JPOP					
第 4 週	ストレッチ・発語・発声・唱歌・手話歌・JPOP					
第 5 週	ストレッチ・発語・発声・唱歌・身の回りの音・手話歌・JPOP					
第 6 週	ストレッチ・発語・発声・4分の2拍子の基礎リズム・唱歌・手話歌・JPOP					
第 7 週	ストレッチ・発語・発声・4分の2拍子の基礎リズム・身の回りの音・手話歌・JPOP					
第 8 週	ストレッチ・発語・発声・4分の2拍子のリズム・手話歌・JPOP					
第 9 週	ストレッチ・発語・発声・オトマトペ・唱歌・手話歌・JPOP					
第10 週	ストレッチ・発語・発声・オトマトペ・唱歌・手話歌・JPOP					
第11 週	ストレッチ・発語・発声・4分の2拍子の基礎リズム・唱歌・手話歌・JPOP					
第12 週	ストレッチ・発語・発声・4分の2拍子の基礎リズム・唱歌・手話歌・JPOP					
第13 週	ストレッチ・発語・発声・4分の2拍子の基礎リズム・唱歌・手話歌・JPOP					
第14 週	ストレッチ・発語・発声・4分の2拍子の基礎リズム・唱歌・手話歌・JPOP					
第15 週	ストレッチ・発語・発声・唱歌・手話歌・JPOP・前期試験対策					
第16 週	ストレッチ・発語・発声・唱歌・手話歌・JPOP・前期試験対策					
第17 週	前期試験					
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
試験は〔筆記・実技〕の内容						
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
	教科書	なし				
	参考書	なし				
<b>6. 注意事項</b>						

科目		認知作業トレーニングⅢ（前期）				
担当教員	石川美雪・佐藤隆博	学年	1	履修期間	前期	1
学科	社会生活学科					
種別	演習	単位時間	34	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	①身体を知る⇨ボディイメージを高める⇨身体バランスを養う ②自分の力の入れ方、相手の力を感じる⇨筋肉の力の入れ方、力を合わせることを学ぶ ③棒やボールを使った運動から瞬発力や協調運動能力を高める ④指先の細かいトレーニングから目標達成する考え方を鍛える ⑤静的、動的な動作の記憶方法を学ぶ。身体部位の働きや使い方の言葉による表現法、観察力を養う					
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第2週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第3週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第4週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第5週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第6週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第7週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第8週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第9週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第10週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第11週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第12週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第13週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第14週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第15週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第16週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第17週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第18週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
ペーパー試験は実施せず。振り返りシート（レポート）で評価						
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
教科書	：なし					
参考書	：なし					
<b>6. 注意事項</b>						

科目		アート演習 I (前期)				
担当教員	石川美雪	学年	2	履修期間	前期	1
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
	目的	・自分の感情や思想・意思を外面的、客観的な形あるものとして表す				
<b>2. 講義計画</b>						
第1	週	スポンジアート①				
第2	週	スポンジアート①				
第3	週	曼荼羅ぬり絵①				
第4	週	曼荼羅ぬり絵①				
第5	週	美文字①				
第6	週	美文字①				
第7	週	木工①				
第8	週	木工①				
第9	週	ラッピング①				
第10	週	ラッピング①				
第11	週	折り紙アート①				
第12	週	折り紙アート①				
第13	週	粘土アート①				
第14	週	粘土アート①				
第15	週	綿棒アート①				
第16	週	綿棒アート①				
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
		・色々な方向性を体感し、自分の内面を知ることにつなぐ				
<b>4. 成績評価の方法</b>						
		・平常点・振り返りレポートによる評価				
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
	教科書	: なし				
	参考書	: なし				
<b>6. 注意事項</b>						

科目		進路サポート I (前期)				
担当教員	佐藤隆博	学年	2	履修期間	前期	1
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生生活や自身のことを振り返り、進路活動につなげる</li> <li>・ あいさつ等の礼法指導を通じ、マナーを身につける</li> <li>・ 授業での活動を通じ、進路決定につなげる</li> </ul>				
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	自分を見つめる					
第 2 週	自分を見つめる					
第 3 週	進学情報収集	学科研究				
第 4 週	進学情報収集	授業内容研究				
第 5 週	進学情報収集	学校選び				
第 6 週	インターンシップ事前学習					
第 7 週	インターンシップ					
第 8 週	インターンシップ					
第 9 週	インターンシップ振り返り					
第 10 週	進学情報収集	オープンキャンパス				
第 11 週	願書の書き方					
第 12 週	自己アピール作成					
第 13 週	志望動機作成					
第 14 週	願書作成					
第 15 週	面接指導					
第 16 週	前期の振り返り					
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
授業に取り組む姿勢や達成度で評価						
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
	教科書	:				
	参考書	:				
<b>6. 注意事項</b>						

科 目	パソコン活用実習 I (前期)					
担当教員	佐藤隆博	学年	2	履修期間	前期	2
学科	社会生活学科					
種別	演習	単位時間	68	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ wordで文書作成およびチラシ作成の技術を学ぶ</li> <li>・ excelで数式・関数を使った表作成の技術を学ぶ</li> </ul>					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	PC設定					
第 2 週	word 基本設定					
第 3 週	word 文書作成					
第 4 週	word 文書作成					
第 5 週	word 文書作成					
第 6 週	word チラシ作成					
第 7 週	word チラシ作成					
第 8 週	word チラシ作成					
第 9 週	excel 基本操作					
第 10 週	excel 表作成					
第 11 週	excel 表作成					
第 12 週	excel 表作成					
第 13 週	excel 表作成					
第 14 週	excel 表作成					
第 15 週	excel 表作成					
第 16 週	定期試験対策					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
課題提出点および定期試験（実技）により評価						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						
パソコンを使つての演習である。						

科 目		表現技法Ⅳ（後期）				
担当教員	宮崎 亮	学年	2	履修期間	後期	1
学科	社会生活学科	実務経験のある教員等による授業				
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
	目的	発声練習をすることによって、会話における声量や発音が聞きやすいようにすることを目的とする。				
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	課題曲4。	台本4。				
第2週	課題曲4。	台本4。	配役を入れ替えながら行う。			
第3週	課題曲4。	台本4。	配役を入れ替えながら行う。			
第4週	課題曲4。	台本4。	配役を入れ替えながら行う。			
第5週	フリートーク					
第6週	課題曲5。	台本5。				
第7週	課題曲5。	台本5。	配役を入れ替えながら行う。			
第8週	課題曲5。	台本5。	配役を入れ替えながら行う。			
第9週	課題曲5。	台本5。	配役を入れ替えながら行う。			
第10週	フリートーク					
第11週	課題曲6。	台本6。				
第12週	課題曲6。	台本6。	配役を入れ替えながら行う。			
第13週	課題曲6。	台本6。	配役を入れ替えながら行う。			
第14週	課題曲6。	台本6。	配役を入れ替えながら行う。			
第15週	フリートーク					
第16週	課題曲7。	台本7。				
第17週	課題曲7。	台本7。	配役を入れ替えながら行う。			
第18週	フリートーク					
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
授業に取り組む姿勢と達成度により評価する						
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
	教科書	: 検定過去問題				
	参考書	:				
<b>6. 注意事項</b>						

科 目		パソコン検定対策Ⅳ（後期）				
担当教員	佐藤隆博	学年	2	履修期間	後期	1
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
目的						
2. 講義計画						
第1週	1週	検定の目標を設定し、計画を立てる				
第2週	2週	表計算検定問題				
第3週	3週	表計算検定問題				
第4週	4週	表計算検定問題				
第5週	5週	表計算検定問題				
第6週	6週	表計算検定問題				
第7週	7週	表計算検定問題				
第8週	8週	表計算検定問題				
第9週	9週	表計算検定問題				
第10週	10週	表計算検定問題				
第11週	11週	表計算検定問題				
第12週	12週	表計算検定問題				
第13週	13週	表計算検定問題				
第14週	14週	表計算検定問題				
第15週	15週	表計算検定問題				
第16週	16週	表計算検定問題				
第17週	17週	表計算検定問題				
第18週	18週	後期の振り返り				
3. 関連科目および注意点						
パソコン活用実習の授業の進捗に留意する						
4. 成績評価の方法						
授業に取り組む姿勢と達成度により評価する						
5. 教科書および参考書など						
	教科書	: 検定過去問題				
	参考書	:				
6. 注意事項						

科 目		基礎国語・数学Ⅳ（後期）				
担当教員	佐藤隆博	学年	2	履修期間	後期	1
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
	目的	社会生活場面につながる内容の習得をはかる				
2. 講義計画						
第1週	新聞ワークシート					
第2週	新聞ワークシート					
第3週	比の利用					
第4週	比の利用					
第5週	四字熟語					
第6週	四字熟語					
第7週	ことばの語源調べ					
第8週	生活に関連する書類					
第9週	生活に関連する書類					
第10週	本の紹介					
第11週	本の紹介					
第12週	生活費					
第13週	生活費					
第14週	作文					
第15週	作文					
第16週	感謝のメッセージ					
第17週	感謝のメッセージ					
第18週	定期試験対策					
3. 関連科目および注意点						
4. 成績評価の方法						
	平常点および定期試験（筆記試験）により評価する					
5. 教科書および参考書など						
	教科書	:				
	参考書	: 暮らしに役立つ国語・暮らしに役立つ数学				
6. 注意事項						



科 目		プレゼンテーション演習＋実地学習Ⅳ（後期）				
担当教員	石川美雪・佐藤隆博	学年	2	履修期間	後期	2
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	68	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
目的		①論理的思考力②人前で話せる度胸③コミュニケーション能力⇒相手のこと考えて説明を組み立てる。 ②伝える表現力をつけ、表現方法であるナンバリング・声の抑揚・間の取り方の工夫ができる。				
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	実地学習 秋の散策					
第2週	プレゼンテーション演習⑤					
第3週	プレゼンテーション演習⑤					
第4週	プレゼンテーション演習⑤					
第5週	プレゼンテーション演習⑤					
第6週	実地学習 ごみ拾い					
第7週	プレゼンテーション演習⑥					
第8週	プレゼンテーション演習⑥					
第9週	プレゼンテーション演習⑥					
第10週	プレゼンテーション演習⑥					
第11週	プレゼンテーション演習⑦					
第12週	プレゼンテーション演習⑦					
第13週	プレゼンテーション演習⑦					
第14週	プレゼンテーション演習⑦					
第15週	プレゼンテーション演習⑧					
第16週	プレゼンテーション演習⑧					
第17週	プレゼンテーション演習⑧					
第18週	プレゼンテーション演習⑧					
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
プレゼンテーション発表時のプレゼンテーション評価と実地学習の振り返りレポートにより評価する						
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
教科書		:				
参考書		:				
<b>6. 注意事項</b>						

科 目		認知機能トレーニング(ET+ST)Ⅳ (後期)				
担当教員	石川美雪・佐藤隆博	学年	2	履修期間	後期	1
学科	社会生活学科					
種別	演習	単位時間	34	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知機能の5つの分野(覚える・数える・写す・見つける・想像する)をトレーニングし、①視覚性の短期記憶②聴覚性の短期記憶と文章理解の課題を行い、認知機能を高める。</li> <li>・ 段階式感情トレーニング・危険トレーニング・対人マナートレーニング・段階式問題解決トレーニングし、感情コントロール、危険予知、対人スキル、自ら解決する力をつける。</li> </ul>					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	覚える+数える				対人マナートレーニング	
第 2 週	写す+見つける+想像する				対人マナートレーニング	
第 3 週	覚える+数える				対人マナートレーニング	
第 4 週	写す+見つける+想像する				対人マナートレーニング	
第 5 週	覚える+数える				対人マナートレーニング	
第 6 週	写す+見つける+想像する				対人マナートレーニング	
第 7 週	覚える+数える				問題解決トレーニング	
第 8 週	写す+見つける+想像する				問題解決トレーニング	
第 9 週	覚える+数える				問題解決トレーニング	
第 10 週	写す+見つける+想像する				問題解決トレーニング	
第 11 週	覚える+数える				問題解決トレーニング	
第 12 週	写す+見つける+想像する				問題解決トレーニング	
第 13 週	覚える+数える				問題解決トレーニング	
第 14 週	写す+見つける+想像する				問題解決トレーニング	
第 15 週	覚える+数える				問題解決トレーニング	
第 16 週	写す+見つける+想像する				問題解決トレーニング	
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<p>・ 関連科目は、「社会面ST」「学習面ET」「身体面OT」の3方面からの理解と支援となる。</p> <p>①認知機能の弱さ ②感情統制の弱さ ③融通の利かなさ ④不適切な自己評価 ⑤対人スキルの乏しさの ⑥身体的不器用さのどれに該当するのかを踏まえた上で支援やトレーニングを行う。</p>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
<p>・ 平常点・振り返りレポートによる評価</p>						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						
<p>・ 将来を見据えた生活観を考える時間とする。</p>						

科 目		ライフデザイン論Ⅱ後期					
担当教員	担当教員	石川 美雪	学年	1	履修期間	後期	1
学科	学科	社会生活学科					
		種別	演習	単位時間	34	単位時間	
<b>1. 概要</b>							
	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立した生活の確立</li> <li>・ 自信を持って自分らしく生きる。</li> <li>・ 社会参加の意義や方法を学ぶ</li> </ul>					
<b>2. 講義計画</b>							
	第 1 週	住まい③					
	第 2 週	コミュニケーションと人間関係①					
	第 3 週	コミュニケーションと人間関係②					
	第 4 週	コミュニケーションと人間関係③					
	第 5 週	コミュニケーションと人間関係④					
	第 6 週	買い物①					
	第 7 週	買い物②					
	第 8 週	買い物③					
	第 9 週	衣類管理①					
	第 10 週	衣類管理②					
	第 11 週	衣類管理③					
	第 12 週	災害①					
	第 13 週	災害②					
	第 14 週	災害③					
	第 15 週	掃除・整理①					
	第 16 週	掃除・整理②					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生の日常を把握し、日々の生活と密着させる。</li> <li>・ 常に「自立」を意識させる。</li> <li>・ 自己選択や自己決定を重視する。</li> <li>・ グループ学習をベースとし意見交換や経験の分かち合いにつなぐ。</li> </ul>					
<b>4. 成績評価の方法</b>							
		・ 平常点・定期試験による評価					
<b>5. 教科書及び参考書など</b>							
	教科書	・ 社会性活カプログラム・マニュアル					
	参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>							
		・ 将来を見据えた生活観を考える時間とする。					

科目	実行機能トレーニングⅣ（後期）					
担当教員	石川美雪・佐藤隆博	学年	2	履修期間	後期	2
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	68	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
目的	①抑制機能⇒その場において優位な行動や思考を抑える機能 ②アップデートング、ワーキングメモリ⇨頭の中のメモ帳に書かれている情報を確認し、必要な新しい情報を更新していく機能 ③シフティング⇨やるべき課題を状況に応じて柔軟に切り替える機能を身に付ける。  ①②③の機能を身に付ける					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	後期目標設定・揭示					
第 2 週	1・2年合同 インターンシップ計画					
第 3 週	インターンシップ					
第 4 週	インターンシップ					
第 5 週	卒業研究					
第 6 週	卒業研究					
第 7 週	卒業研究					
第 8 週	卒業研究					
第 9 週	1・2年合同 調理実習①					
第 10 週	1・2年合同 調理実習②					
第 11 週	1・2年合同 調理実習③					
第 12 週	卒業研究					
第 13 週	卒業研究					
第 14 週	卒業研究					
第 15 週	卒業研究					
第 16 週	感謝の手紙作成					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
・平常点・振り返りレポートによる評価						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
・平常点・定期試験による評価						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						
・いろいろな体験を通して、経験値を積み上げるように進める。						

科 目		SST・コミュニケーションⅣ（後期）				
担当教員	石川美雪・佐藤隆博	学年	2	履修期間	前期	2
学科	社会生活学科					
種別	演習	単位時間	68	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が社会の中でどのように生きていくか</li> <li>・自分が社会とどのようにつながるかを考える</li> <li>・人間関係の構築とうまく生きるコツを身につける</li> </ul>					
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	初対面の人ときちんと話すには					
第2週	初対面の人ときちんと話すには					
第3週	対人マナーを身につける					「尋ねるマナー③・頼むマナー①」
第4週	問題を解決する					「言い訳をすることも一つの方法」
第5週	目上の人ときちんと話すには					
第6週	目上の人ときちんと話すには					
第7週	感情をうまくコントロールする					「自分の気持ちに気がつく」
第8週	対人マナーを身につける					「頼むマナー②・謝るマナー①」
第9週	自分の考えを上手に伝えるには					
第10週	自分の考えを上手に伝えるには					
第11週	問題を解決する					「みんなが納得するのは難しい」
第12週	感情をうまくコントロールする					「あなたが悪いと言わずに聞いてあげる」
第13週	友だちをつくろう					
第14週	友だちをつくろう					
第15週	対人マナーを身につける					「謝るマナー②・謝るマナー③」
第16週	問題を解決する					「なんでも試してみよう」
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション教育とソーシャルスキルやキャリア教育を中心にグループワークを実践し、ロールプレイや変化に富んだ実習を多く入れる。</li> </ul>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平常点・定期試験(筆記試験・実技試験)による評価</li> </ul>						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	:みるみる会話力がつくノート					
<b>6. 注意事項</b>						
・授業導入としてエンカウンターをスキルの指導の般化・定着化課題として行う						

科 目	パソコン活用実習Ⅱ（後期）					
担当教員	佐藤隆博	学年	2	履修期間	後期	2
学科	社会生活学科					
種別	演習	単位時間	68	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PowerPointの基本的な機能とスライド作成の技術を学ぶ</li> <li>・ 学んだことをワープロ検定・表計算検定につなげる</li> </ul>					
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	power point 基本操作					
第 2 週	power point スライド作成					
第 3 週	power point スライド作成					
第 4 週	power point スライド作成					
第 5 週	power point スライド作成					
第 6 週	power point スライド作成					
第 7 週	power point スライド作成					
第 8 週	ワープロ検定問題					
第 9 週	ワープロ検定問題					
第 10 週	ワープロ検定問題					
第 11 週	ワープロ検定問題					
第 12 週	表計算検定問題					
第 13 週	表計算検定問題					
第 14 週	表計算検定問題					
第 15 週	表計算検定問題					
第 16 週	定期試験対策					
<b>3. 関連科目及び注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
課題提出点および定期試験（実技）により評価						
<b>5. 教科書及び参考書など</b>						
教科書	:					
参考書	:					
<b>6. 注意事項</b>						
パソコンを使っでの実習である。						

科 目		音楽表現Ⅳ（後期）				
担当教員	鈴木 日出代	学年	2	履修期間	後期	1
学科	社会生活学科	実務経験のある教員等による授業				
種別	演習	単位時間	34 単位時間			
<b>1. 概要</b>						
目的						
①発声法を学ぶ ・テーマに沿った曲を唄い、聞くこと						
<b>2. 講義計画</b>						
第 1 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP・日本民謡					
第 2 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP・日本民謡					
第 3 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP					
第 4 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP					
第 5 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP・日本民謡					
第 6 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP・日本民謡					
第 7 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP					
第 8 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP					
第 9 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP・日本民謡					
第 10 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP・日本民謡					
第 11 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP・日本民謡					
第 12 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP・日本民謡					
第 13 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP・後期試験対策					
第 14 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP・後期試験対策					
第 15 週	ストレッチ・発語・発声・季節唱歌・手話歌・JPOP・後期試験対策					
第 16 週	後期試験					
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
試験は〔筆記・実技〕の内容						
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
教科書	:なし					
参考書	:なし					
<b>6. 注意事項</b>						

科目		認知作業トレーニングⅣ（後期）				
担当教員	石川美雪・佐藤隆博	学年	2	履修期間	後期	1
学科	社会生活学科					
種別	演習	単位時間	34	単位時間		
<b>1. 概要</b>						
目的	①身体を知る⇨ボーディイメージを高める⇨身体バランスを養う ②自分の力の入れ方、相手の力を感じる⇨筋肉の力の入れ方、力を合わせることを学ぶ ③棒やボールを使った運動から瞬発力や協調運動能力を高める ④指先の細かいトレーニングから目標達成する考え方を鍛える ⑤静的、動的な動作の記憶方法を学ぶ。身体部位の働きや使い方の言葉による表現法、観察力を養う					
<b>2. 講義計画</b>						
第1週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第2週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第3週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第4週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第5週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第6週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第7週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第8週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第9週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第10週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第11週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第12週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第13週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第14週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第15週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第16週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第17週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
第18週	1. 身体を知る2. 力加減を知る3. 動きを変える4. 物をコントロールする5. 指先を使う6. 動きをまねる7. 動きを言葉で伝える					
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b> 振り返りシート（レポート）で評価する						
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
教科書	：なし					
参考書	：なし					
<b>6. 注意事項</b>						



科 目		アート演習Ⅱ（後期）				
担当教員	石川美雪	学年	2	履修期間	後期	1
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
1. 概要						
	目的	・自分の感情や思想・意思を外面的、客観的な形あるものとして表す				
2. 講義計画						
	第1週	秋の小箱				
	第2週	秋の小箱				
	第3週	曼荼羅ぬり絵②				
	第4週	曼荼羅ぬり絵②				
	第5週	折り紙アート②				
	第6週	折り紙アート②				
	第7週	クリスマスカード				
	第8週	クリスマスカード				
	第9週	クリスマスカード				
	第10週	美文字②				
	第11週	美文字②				
	第12週	美文字②				
	第13週	木工②				
	第14週	ラッピング②				
	第15週	ラッピング②				
	第16週	ラッピング②				
3. 関連科目および注意点						
		・色々な方向性を体感し、自分の内面を知ることにつなぐ				
4. 成績評価の方法						
		・平常点・振り返りレポートによる評価				
5. 教科書および参考書など						
	教科書	: なし				
	参考書	: なし				
6. 注意事項						

科目		進路サポートⅡ（後期）				
担当教員	佐藤隆博	学年	2	履修期間	後期	1
学科	社会生活学科					
	種別	演習	単位時間	34	単位時間	
<b>1. 概要</b>						
	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生生活や自身のことを振り返り、進路活動につなげる</li> <li>・ あいさつ等の礼法指導を通じ、マナーを身につける</li> <li>・ 授業での活動を通じ、進路決定につなげる</li> </ul>				
<b>2. 講義計画</b>						
	第1週	自分を見つめる				
	第2週	インターンシップ事前学習				
	第3週	インターンシップ				
	第4週	インターンシップ				
	第5週	インターンシップ振り返り				
	第6週	就職情報収集	職種研究			
	第7週	就職情報収集	会社検索			
	第8週	求人票の見方				
	第9週	履歴書の書き方				
	第10週	自己アピール作成				
	第11週	志望動機作成				
	第12週	履歴書作成				
	第13週	履歴書作成				
	第14週	面接指導				
	第15週	面接指導				
	第16週	後期の振り返り				
<b>3. 関連科目および注意点</b>						
<b>4. 成績評価の方法</b>						
	授業に取り組む姿勢や達成度で評価					
<b>5. 教科書および参考書など</b>						
	教科書	:				
	参考書	:				
<b>6. 注意事項</b>						